

鶴ヶ島市青少年健全育成連絡協議会取組方針

平成 24 年 7 月 21 日

1 現状と課題

(1) 青少年を取り巻く環境

今日、少子高齢・人口減少による人口構造の変化と核家族の進行の下、青少年を取り巻く社会環境が情報・消費社会の浸透などにより大きく変化してきました。

そして、家庭教育の難しさや地域における人間関係の希薄化から地域で子どもを支え、育む環境を整える必要が生じています。

また、インターネットや携帯電話等の普及・発展による情報化の進展は、新たなコミュニケーション手段として利用される一方、メディアへの依存を高め、人間関係を希薄にするなど青少年への健全育成に不安な材料を提供しています。

(2) 課題

- ①家族間のコミュニケーションの減少
- ②地域における人間関係の希薄化
- ③インターネット、携帯電話等の有用性ととも危険性の理解不足
- ④有害情報の氾濫
- ⑤違法薬物の使用や犯罪に巻き込まれる危険性の増加

こうした環境の変化を受け、次の取組方針の下、鶴ヶ島市の青少年の健全な育成を推進していきます。

2 取組方針

次代を担う青少年が社会的に自立したひとりの大人に成長するために…

- (1) 家庭、地域、学校をはじめ社会を構成する全ての組織と個人が協力し、支援を行っていきます。
- (2) 家庭は、最も基本的な人間形成の場です。正しいしつけと規範意識、自立心や優しさを育てるため、家庭でのコミュニケーションの大切さを啓発していきます。
- (3) 地域に育てられた子は、やがて地域を担う人材になります。「声掛け」や「あいさつ」の実践、地域での交流・体験を通じて、青少年を見守り、心身の成長と人間形成を育みます。
- (4) 高齢社会における対応力を育むため、高齢者をはじめとした世代間交流を推進します。
- (5) インターネット社会に潜む危険性を啓発するとともに青少年が犯罪に巻き込まれないよう安全・安心な環境をつくります。